



编著◎张昭石



(第二版)

# 中日跨文化交际实用教程

日语专业核心课程教材

理论扎实  
趣味生动  
讲练结合



华东理工大学出版社





编著◎张韶岩



(第二版)

# 中日跨文化交际实用教程

日语专业核心课程教材

理论扎实  
趣味生动  
讲练结合



华东理工大学出版社  
上海



**图书在版编目(CIP)数据**

中日跨文化交际实用教程 / 张韶岩编著. —2版. —上海:  
华东理工大学出版社, 2019. 6  
ISBN 978-7-5628-5820-1

I. ①中… II. ①张… III. ①比较文化-中国、日本-教材-日文 IV. ①G04

中国版本图书馆CIP数据核字(2019)第107401号

---

项目统筹 / 朴美玲

责任编辑 / 朴美玲

装帧设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地址: 上海市梅陇路130号, 200237

电话: 021-64250306

网址: [www.ecustpress.cn](http://www.ecustpress.cn)

邮箱: [zongbianban@ecustpress.cn](mailto:zongbianban@ecustpress.cn)

印刷 / 上海展强印刷有限公司

开本 / 710mm × 1000mm 1 / 16

印张 / 14.5

字数 / 292千字

版次 / 2019年6月第2版

印次 / 2019年6月第1次

定价 / 35.00元

---

版权所有 侵权必究

近年、日本語教育においては、コミュニケーション能力の養成が目標とされ、会話特有の技術やストラテジー教育が重要視されるようになってきた。

2018年、《外国语言文学类教学质量国家标准》いわゆる「新国標」が公布された。

「新国標」では、“跨文化能力”（異文化コミュニケーション能力）について以下のように述べている。

“尊重世界文化多样性，具有跨文化同理心和批判性文化意识；掌握基本的跨文化研究理论知识和分析方法，理解中外文化的基本特点和异同；能对不同文化现象、文本和制品进行阐述和评价；能有效和恰当地进行跨文化沟通；能帮助不同文化背景的人士进行有效的跨文化沟通。”

（世界の多様な文化を尊重し、異文化に対する理解と判断ができる意識を持つ。異文化コミュニケーション分野の理論と分析方法を会得する。さらに中国と異文化間の基本的な特徴およびその類似点と相違点を理解する能力を養う。異なる文化現象、書籍および製品について解説したり、評価したりする能力を育てる。異文化を背景とする人達に対する効果的な交流を促進する能力を身につける。）

本書は、「新国標」の指導のもとで、2012年に出版した《中日跨文化交际实用教程》に加筆を施したものである。

修正後、本書は六つのタイプの部分が含まれている。

- 一、異文化コミュニケーションとは
- 二、中日間のコミュニケーション・ギャップ
- 三、異文化コミュニケーションのポライトネス
- 四、異文化コミュニケーションにおける聞き手の役割
- 五、異文化コミュニケーションの言語行動

## 六、異文化コミュニケーションの非言語行動

一では、文化の多様性や異文化受容態度など異文化間コミュニケーション分野の基本的な重要項目に触れて短く解説する。異文化の人との交流で取るべき態度を学ばせたい。

二では、異文化理解を深めようとする一環として、日本に滞在中の多くの中国人と中国に滞在中の日本人が異文化適応において抱えている問題を取り上げたい。

三では、語用論的な立場で、中日のポライトネスのストラテジーの相違点を解説する。

四では、聞き手の言語行動としての「あいづち」について解説する。コミュニケーション力は「話す力」と「聞く力」の2つで構成されている。「話す」は意識しがちだが、「聞く」ことも大切である。

五では、中日の「言語行動」のストラテジーの類似点と相違点に着目する。分析の対象となる言語行動は「あいさつ」「謝罪」「なぐさめ」「説得」「ほめ」「反対意見表明」「前置き言葉」「値切り交渉」である。いずれも実際のコミュニケーションを深く進める際によく行われる言語行為である。

六では、非言語コミュニケーションに焦点をあてて分析する。非言語コミュニケーションにも言葉と同じように慣習がある。たとえば、人差し指をまげたら、中国語で数字の9、日本語では泥棒の意味となってしまう。中日コミュニケーションの慣習を学習者に認識させることは大切である。

本書の各章に「観察・思考・分析をしてみよう」を追加した。中国人の日本語学習者の異文化意識を養成するだけでなく、異なる文化現象を解説したり評価したりする能力をも高めることを目的としている。

本書は、おもに中国と日本とのコミュニケーションに焦点を当てている。中国人と日本人がコミュニケーションする際に生ずる意思の疎通・理解の難しさといった問題点など検討することによって、異文化コミュニケーション能力の向上にすこしでも役立てばと思う。

本書をまとめるにあたって、数多くの優れた先行研究を参考にさせていただき、お礼を申し上げたいと思う。

本書の加筆修正中、中国海洋大学で教えられている島本知佳先生、中本靖子先生、友人の島田薫様に貴重なコメントをいただいて感謝の意を表したい。

<b>一、異文化コミュニケーションとは</b>	<b>1</b>
第1章 多文化・異文化に目を向けよう	3
第2章 異文化受容態度	9
<b>二、中日間のコミュニケーション・ギャップ</b>	<b>14</b>
<b>異文化コミュニケーション・ギャップとは</b>	
第3章 中国人が違いを感じた日本人の行動	18
第4章 日本人が違いを感じた中国人の行動	38
<b>三、異文化コミュニケーションのポライトネス</b>	<b>50</b>
<b>ポライトネスとは</b>	
第5章 ポライトネスのストラテジー	54
<b>四、異文化コミュニケーションにおける聞き手の役割</b>	<b>64</b>
<b>いかに人の話を聞くのか</b>	
第6章 あいづちのストラテジー	69
<b>五、異文化コミュニケーションの言語行動</b>	<b>82</b>
<b>言語行動とは</b>	
第7章 あいさつのストラテジー	84
第8章 謝罪のストラテジー	96
第9章 慰めのストラテジー	107
第10章 説得のストラテジー	128
第11章 褒めのストラテジー	140
第12章 反対意見表明のストラテジー	157

第13章	値切り交渉のストラテジー	177
第14章	前置きのストラテジー	187

## 六、異文化コミュニケーションの非言語行動

200

### 非言語コミュニケーションとは

第15章	ハンド・ジェスチャーのストラテジー	204
第16章	体に関する俗信表現	217

## 一、異文化コミュニケーションとは

グローバル化社会では、旅行、留学、移民、出張、研究交流、海外勤務、外資系就職などさまざまな形態による異文化接触が多く行われている。

異なる社会や文化には、それに基づく慣習やルールがある。異文化接触は、新たな視点となる一方、相手国のルールを知ることが大切である。そうでないと、誤解されたり、カルチャー・ショックや葛藤が起こる。

異文化接触は、文化の多様性を理解したり、なにが異文化コミュニケーションに必要な態度なのかを考えるきっかけともなる。

異文化接触場面のコミュニケーションは、生活様式や社会的特徴が異なった環境で生まれ育った人同士が、情報、意思、思考、感情、知識などを受け取りあうこと、あるいは伝え合うことである。

異文化コミュニケーションの範囲は、ふつう国籍の異なる人々のコミュニケーションだと考えられがちであるが、そうとは限らない。年代や性別の異なる場合、出身地や職業などの異なる場合も考えられる。年代、性別、出身地、職業などの違いによって、その考え方や価値観が異なってくる。

コミュニケーションには言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションがある。言語によるコミュニケーションが相互理解を深めるうえで大切な役割を果たしている。顔の表情、視線、ジェスチャーなど言語以外の手段も感情や意志を伝えている。これは非言語コミュニケーションである。日本語の「目は口ほどにものをいう」と中国語の「眼睛会说话」に示されているように、非言語コミュニケーションも重要な役割を示している。

一においては、多文化、異文化に目を向けること、さらに異文化を受容する態度について検討する。



## · 訳文 ·

在全球一体化的社会中，不同文化间的接触形态多种多样，诸如旅游、留学、移民、出差、学术交流、海外任职、外企任职等。

在不同的社会和文化熏陶下，会形成不同的习惯与规则。跨文化接触能使人耳目一新，另一方面，也需要了解对方国家的规则。否则，将有可能产生误解、文化冲击或纠葛。

跨文化接触成为一个契机，使我们了解文化的多样性以及思考什么才是跨文化交流中应采取的必要态度。

跨文化交流是指在不同生活方式、不同社会特征环境下成长的人们所进行的信息、想法、思维、情感以及知识的接受或相互传递。

跨文化交流的范围一般来说很容易被认为是不同国籍人们之间的交流，然而，其范围并不仅限于此。不同年龄层、不同性别、不同籍贯和不同职业的人们之间同样存在跨文化交流。正是因为年龄、性别、籍贯、职业等不同，致使人们拥有不同的思维与价值观。

交流包含言语交流与非言语交流。言语交流对加深相互理解发挥了重要作用。而面部表情、视线、姿态等言语之外的手段同样可以传递情感与思想。这就是非言语交流。正如日语“目は口ほどにものをいう”与汉语中的“眼睛会说话”所表现的那样，非言语交流同样起到至关重要的作用。

在第一部分，将探讨文化的多样性、异文化现象以及跨文化交流中对待不同文化的态度。

# 第1章 多文化・異文化に目を向けよう

## 1. 文化とは

---

コミュニケーションの手段となる言語と非言語は文化の影響をうける。文化の定義は数多くあるが、つぎのような特徴<sup>①</sup>が見られる。

- ★文化は学習されるもの。  
学校の教育、親のしつけなど。
- ★文化は引き継がれるもの。  
礼儀作法、習慣、正月、春節、京劇、歌舞伎などは伝えられている。
- ★文化は常に時代とともに変化する。  
言語、ファッション、価値観、審美観などが昔と異なるのは、時代とともに文化が変化したからである。
- ★文化は規範である。  
学校の規則、ビジネスルール、順番を待つ並び方というような規範が存在する。規範は文化によって異なっている場合が多い。

## 2. 見える文化と見えない文化

---

文化には見えるものと見えないものがある<sup>②</sup>。

見える文化は、衣、食、住、美術、音楽、工芸など形のあるものである。日本文化といたら、着物、お寿司、畳み、能楽、歌舞伎などを、中国文化といたら中華料理、チャイナドレス、京劇などを思い浮かべるだろう。中国女性民族衣装展とか日本和装の着付教室などは見える文化に関する異文化理解活動である。

習慣、ルール、世界観、価値観、コミュニケーションスタイル、信念、宗教などは見えない文化である。

見える文化と見えない文化は互いに影響しあっている。たとえば、日本人は、年末から年始にかけて、クリスマスを祝い、神社に初詣をし、法事

は寺院で行う、という活動は、見える文化であるが、神道、仏教という思想の日本人の生活と精神への影響だと考えられる。中国人は長幼の序などを守る形式的な礼儀、バスなどで年寄りに席を譲る行動も、儒教の倫理思想の影響の現れであろう。

見える文化も見えない文化も異文化摩擦の原因になれる。

たとえば、タバコを勧めることや人の皿に料理を乗せることは見える文化である。

中国には「烟酒不分家」（お酒とたばこはだれのものというのではなく、皆で分かち合うもの）という言葉が示されるように、お酒やたばこ、特にたばこをたしなむときは、周りの人にも勧めるのがマナーである。このマナーを知らない日本人は、けちだとか、無視されるとかと思われるおそれがある。逆に、中国では自分の箸で隣の客のお皿に勝手に料理を乗せることは礼儀正しいと思われることが、日本人には抵抗を感じる人が多いようである。

価値観や世界観は見えない文化である。

見えない文化に潜む価値観や世界観や考え方の違いは、異文化摩擦の大きな原因となる。

### 3. 高コンテキスト文化と低コンテキスト文化

あまりコンテキストに頼らず、メッセージの大部分が実際の言語表現によって伝達される文化を「低コンテキスト文化」（ローコンテキスト）、逆に明確な表現を避け、話されるよりもコンテキストに重点を置いてお互いに相手の意図を読み取る文化を「高コンテキスト文化」（ハイコンテキスト）という。

日本語のコミュニケーションと英語のコミュニケーションがよく比較される<sup>③</sup>。日本人同士はある程度の察しを期待して事細かにすべて言葉で明確にすることという事は避けるコミュニケーション・スタイルである。一方、アメリカ人は「だれが」「なにを」「どうする」言葉で明確にしていくコミュニケーション・スタイルである、という。

中国は日本ほどではないが、日本と同じような特質もあるのではないか。英語と比べると、中国も日本も高コンテキスト文化だと考えられる。

中国にも日本にも、察し文化の特徴を表す表現やことわざが多く使われている。

以心伝心	心心相印、心領神会、心照不宣
言わぬが花	不说为妙
一を聞いて十を知る	闻一以知十
<small>あうん</small> 阿吽の呼吸	配合默契
魚心あれば水心	两厢情愿
顔色をうかがう	察言观色

中国にも日本にも、全部言わなくてもコンテキストから言いたいことがわかってもらえることを前提にするコミュニケーション文化がある。

とはいえ、中国人のコミュニケーションと日本人のコミュニケーションを比較すると、中国はより低コンテキスト文化の特質をもつとされる。

日本語の社会では、「空気を読む」「空気が読めない」という表現がある。

江村によると<sup>④</sup>、2007年8月16日付けの朝日新聞紙上につぎのような記述がある。(前略)「好感がもてる男の子のタイプ」を男子に聞くと1位が「人に配慮ができる人」で、「嫌い」の一位は「場の空気が読めない人だ」「空気を読む」について、辞書にも、「その場の雰囲気から状況を推察する。特に、その場で自分がなにをすべきか、すべきでないかや、相手にしてほしいこと、してほしくないことを憶測して判断する。」というふうに説明されている。

言語中心の欧米では、コミュニケーションの第一義的な責任は話し手にある。これに対して、日本は非言語的な側面を重視するので、責任は聞き手にもあることになる。つまり、聞き手が話し手の意図することを推測する必要がある<sup>⑤</sup>。

「空気を読む」ことで、状況を理解することは日本社会では大切なことである。

中国では、前述したように、「察し」はないとはいえないが、多様な民族が混在しているので、「察し」は日本でより少なくなる。察しが少ない文化では、言葉で明瞭かつ理論的に説明しなくてはならない場合が多くなる。

コラム 伝統的な価値観の表れ	
儒教の価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の成功や失敗、幸福と不幸は、すべて天が決めたものである。</li> <li>・何かをするときには、まず、世間からどう思われるかを第一に考えるべきである。</li> </ul>
仏教の価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よい行いをするときには、人に知られることや相手に喜ばれることを期待せず、ただ人のために尽くすのが本当の思いやりである。</li> <li>・病気や死だけでなく、人間にとっては生きることも苦しみである。</li> <li>・この世のすべては、まぼろしのようには、実体のないものである。</li> </ul>
神道・国学的価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念やイデオロギーを強く主張するよりも、おおらかな気持ちで事にあたるほうが、世の中は結局うまくいく。</li> <li>・世の中に「ただ一つの正義」「唯一の真理」といったものは存在しない。その時々によって、個別に判断をしていくのが正しい智慧である。</li> <li>・人間の人生は、個人としてよりも、社会や集団(会社、学校、国家など)のために尽くしてこそ意味がある。</li> <li>・世の中のことは、人間の知恵を超えたものであり、自然の流れに任せるのが一番である。</li> </ul>

大淵 (2014) による<sup>®</sup>

## 観察・思考・分析をしてみよう

1. 中国の特質と日本の特質をもつ見える文化の存在例をそれぞれ調べなさい。
2. 中国の特質と日本の特質をもつ見えない文化の存在例をそれぞれ調べなさい。
3. 見える文化は見えるものだから、誤解や摩擦を招くわけではない、という考えは間違いである。中国の常識が日本の非常識となる、あるいは反対に、日本の常識が中国の非常識になる、ということを観察しなさい。
4. みなさんはさまざまな地域から集まってきている。出身地による異文化の例を挙げながら話し合いなさい。
5. 高コンテキスト文化では、コンテキストによって相手の意図を読み取る場合が多い。次の会話における日本語の「だいじょうぶ」と中国語の「意思」の意味をそれぞれどのように捉えるのか。

- ① ☆ A: いま、電話だいじょうぶ?  
 B: うん、だいじょうぶ。
- ☆ A: 顔色悪いよ。  
 B: うん、だいじょうぶ。
- ☆ A: きょう、夕飯、家で食べる?  
 B: いい。  
 A: いいって、どっち?  
 B: だいじょうぶ!  
 A: だから、だいじょうぶってのは、要るの?要らないの?  
 B: …要らない。  
 A: 最初からそういいなさいよ。
- ☆ A: 好きです! つきあってください!  
 B: あー、ええと、だいじょうぶ。
- ☆ A: ビールもっと飲む?  
 B: だいじょうぶ。

ヒント: 「ok」「平気」「受け入れる」「拒絶」

- ② 上司: 你这是什么意思?  
 部下: 没什么意思, 意思意思。  
 上司: 你这就不够意思了。  
 部下: 小意思, 小意思。  
 上司: 你这人真有意思。  
 部下: 其实也没别的意思。  
 上司: 那我就不好意思了。  
 部下: 是我不好意思。

参考訳文:

- 目上: これはなんのつもりですか?  
 部下: べつに、ほんのお礼のしるしです。  
 目上: これは結構です。  
 部下: ほんの気持ちです。

目上：きみってまったく。

部下：とくにべつになにかという意味はありませんが。

目上：それでは恐縮です。

部下：こちらこそ恐縮でございます。

6. 対人関係のコントロールにおいて、日本人は言葉を用いることが少なく、中国人はそれが多い<sup>⑥</sup>と言われるが、その理由を分析しなさい。

**コメント：**中国は日本より低コンテクスト文化の特質をもつためである  
うか。

## 注釈

- ① 原沢伊都夫．異文化理解入門．研究者，2013.
- ② 鈴木孝夫．ことばと文化．岩波新書，1973.  
古田暁，ほか．新版．異文化コミュニケーション・キーワード．有斐閣双書，2001.  
小坂貴志．異文化コミュニケーションのA to Z——理論と実践の両面からわかる．研究社，2007.
- ③ 滝沢謙三，ほか．英語コミュニケーション力・暗黙のルール 22．三一書房，2009.
- ④ 江村裕文．『空気』に関する論考 I．異文化 17．論文編，2016.
- ⑤ 大淵憲一．伝統的価値観の国際比較：日本、韓国、中国、米国における儒教の価値観．文化．78 巻第 1・2 号，2014.
- ⑥ 陈舜臣．日本人と中国人．集英社文庫，1984.

## 第2章 異文化受容態度

### 1. 異文化受容態度の類型<sup>①</sup>

異文化受容態度の類型モデルでは、4分類されている。

- ① 異文化に接触した際にホスト文化の人々と良好な関係の保持を重視するか。
- ② 異文化に接触した際にホスト文化の人々と良好な関係の保持を重視しないか。
- ③ 自文化アイデンティティーの保持を重視するか。
- ④ 自文化アイデンティティーの保持を重視しないか。

自分の文化に基づいた意識や価値基準を唯一の基準として、他の文化の価値観などを判断する考え方は自文化中心主義で、排他的な態度に陥りやすい。

全ての文化に優劣はなく、それぞれを同じように尊重すべきとの考え方は文化相対主義である。

異文化接触の場合、自国文化のアイデンティティーを重視しつつ、相手の文化を考慮したコミュニケーションを行うのが理想的であると考えられる。相手が日本人の場合、盲目的に日本語的コミュニケーション・スタイルを模倣せずに、日本文化と中国文化の違いを念頭に入れて、誤解を招かないことが前提になって、中国文化の特質を守るコミュニケーションをすればいい。

たとえば、日本人が日本式のお辞儀をし、それに対して中国人が握手で応えるという異文化態度も認められる。

### 2. 異文化受容とステレオタイプ

特定の集団に属する人々を固定的、画一的に判断し、差違を全く考慮しない見方をステレオタイプ (stereotype) と呼ぶ。



ステレオタイプと似たものに偏見、先入観というものがある。

日本人が中国人に対するステレオタイプ（偏見・先入観）はつぎのようなものがある<sup>②</sup>。

彼らは利己主義で他人のことを配慮しない。

彼らは行動が粗野にして力頼みである。

彼らは世界支配の信報者である。

彼らは平気でうそをつく。人をだます。

彼らは借りた金を返さない。

彼らは人間としてのやさしさに欠ける。

彼らは個人主義者である。

彼らは家族以外に信頼を寄せない。

彼らは力が正義と考えている。

彼らは自己主張一点張りで、人の意見に耳を貸さない。

実際典型的な中国人、この本の作者と親交のある中国人にはそのような側面がないと指摘した。

一方、中国人の日本人に対するステレオタイプ（偏見・先入観）はなんであろうか。よく耳にするのは下記のとおりであろう。

日本人は悪い。

日本人は残酷だ。

日本人はずるい。

日本人は野蛮だ。

日本人は侵略的だ。

実際筆者と親交のある日本人もこれらにあたらぬ。

日本人の間にも中国人の間にもさまざまなタイプの個人がいる。

ステレオタイプには欠点も利点もある。

ステレオタイプは真実、事実を把握するときの妨げになる。物事を一面的に捉え、そこに所属する個人を正しく認識できなくなるという欠点がある。

ステレオタイプには利点もある。複雑な集合体を単純化するために記憶しやすい一面もある。

つぎは国民性のほんの一部（一側面）を大げさに表す有名なジョークである。